

平成25年

5月1日

市制施行70周年



やさシティ、まつど。
matsudo

No.213

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL.047(366)7382

会議録検索のURL <http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html> 松戸市のホームページ (<http://www.city.matsudo.chiba.jp>) からアクセスできます。

21世紀の森と広場

光と風と緑の中で、自然に触れてみませんか。
ぜひ、皆さんおそろいでお出かけください。



3月定例会

平成25年度一般会計予算を市議会で修正

平成25年3月定例会を2月21日から3月22日まで開催しました。
今定例会では、市長の施政方針に対する各会派の代表質問を行いました。
また、市長から専決処分報告を受け、さらに、先議議案1件、24年度補正予算案7件および議員提出議案である地方自治法改正に伴う市議会関係条例の一部改正案3件を可決しました。

このほか、市長から提出された25年度予算に関する議案10件や一般議案12件を各委員会において審査しました。

審査する過程において、市長の提案する25年度予算に対し、予算措置理由の認めがたい部分があったため、9人の委員が「市民自治検討事業」の一部を削除し、予備費に充当とする修正案を提出し、その賛否を審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに追加議案2件、教育委員の任命2件および固定資産評価員の選任1件、議員提出議案7件が上程され、採決しました。

(2面に審議結果を掲載)

「政務調査費」が 「政務活動費」に 変わりました

平成24年9月5日に公布された地方自治法の一部改正により、議員の「調査研究」に資するための「政務調査費」が「政務活動費」に変更となりました。これに伴い、あてることのできる経費の範囲が「調査研究以外のその他の活動」まで拡大され、その範囲については、市の条例で定めることとされました。

松戸市議会では、これまでの実績や経緯を踏まえ、範囲を拡大せず、『その他の活動』を含まない方針で条項の整備を図り、今定例会において関係条例を改正しました。

松戸市議会の情報をホームページで公開しています。

松戸市議会

検索



本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継はこちら」からご覧いただけます。

ライブ放映は、本会議開始直前から終了まで議場の様子を放映します。

過去の議会中継は、会議の翌日夜からの公開となります。

また、「松戸市議会会議録検索システム」より、過去の会議録も公開しておりますので、どうぞご利用ください。

松戸市議会ホームページへ
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai.html>

インターネット放映アクセス件数 30万3,074件(平成17年6月開設～平成25年3月末現在)

3月定例会 審議結果

※議長は採決に加わっておりません。

■可決・同意された案件
●全会一致のもの

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果
市長提出議案							
第73号	平成24年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第1回) 24年度事業費の確定並びに決算見込みを勘案する等所要の補正をする。	都市整備	可決	第98号	損害賠償の額の決定 松戸市立病院の医療事故について、当事者双方の意見が一致した。	健康福祉	同意
第74号	平成24年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回) 24年度の決算見込みを勘案し所要の補正をする。	健康福祉	可決	第99号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定 法施行令の改正で、世帯別平等割額の減額措置を延長等する。	健康福祉	可決
第75号	平成24年度松戸市水道事業会計補正予算(第1回) 24年度の決算見込みを勘案し所要の補正をする。	都市整備	可決	第100号	平成24年度松戸市一般会計補正予算(第8回) 国の交付金により、25年度事業の一部を前倒し実施する。	総務財務	可決
第80号	平成25年度松戸市下水道事業特別会計予算	予算特別	可決	第101号	平成25年度松戸市一般会計補正予算(第1回) 市営住宅の耐震化事業を24年度に前倒しで実施するため措置する。	総務財務	可決
第82号	平成25年度松戸市駐車場事業特別会計予算		可決	第102号	教育委員会委員の任命 委員1人任期満了に伴い、山田達郎氏を任命する。	—	同意
第85号	平成25年度松戸市水道事業会計予算		可決	第103号	教育委員会委員の任命 委員1人任期満了に伴い、伊藤純一氏を任命する。	—	同意
第87号	松戸市職員定数条例の一部を改正する条例の制定 生活保護世帯数の増加に伴い、業務に係る職員の定数を増員する。	総務財務	可決	第104号	固定資産評価員の選任 委員1人退任に伴い、山室武氏を選任する。	—	同意
第88号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定 障害者自立支援法等の改正に伴い、各条例の規定を整備する。	健康福祉	可決	議員提出議案			
第90号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定 指定道路管理システムの導入に伴い、調書の写しの交付手数料を定める。	都市整備	可決	第29号	松戸市議会会議規則の一部を改正する規則の制定	—	可決
第92号	松戸市総合福祉会館条例の一部を改正する条例の制定 母子福祉センターに係る規定を削除し、施設使用料の規定を整備する。	健康福祉	可決	第30号	松戸市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定	—	可決
第93号	松戸市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定 新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、条例を制定する。	健康福祉	可決	第31号	松戸市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定	—	可決
第94号	松戸市駐車場条例の一部を改正する条例の制定 都市整備公社の解散で、21世紀の森と広場周辺の駐車場を市に移管する。	都市整備	可決	第37号	中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書の提出	—	可決
第95号	松戸市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定 小金消防署の移転に伴い、位置に関する規定を改める。	総務財務	可決	第38号	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書の提出	—	可決

●賛否が分かれたもの ○＝賛成 ×＝反対

【会派名の略称】 公明…公明党 市民ク…市民クラブ 松政ク…松政クラブ 共産…日本共産党 絆…絆（無所属の会・みんな） 民・社…民主・社民クラブ

番号	件名	付託先 委員会	本会議 の結果	公明 10人	市民ク 8人	松政ク 7人	共産 5人	絆 4人	市民力 3人	民・社 3人	無所属			
市長提出議案														
第70号	平成24年度松戸市一般会計補正予算(第7回) 24年度の事業費の確定に伴う計数整理並びに特別会計への繰り出し等の補正をする。	総務 財務	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×
第71号	平成24年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2回) 24年度の決算見込みを勘案する等所要の補正をする。	健康 福祉	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第72号	平成24年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算(第1回) 情報システムを更新するため等所要の補正をする。	教育 経済	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
第76号	平成24年度松戸市病院事業会計補正予算(第4回) 24年度の決算見込みを勘案する等所要の補正等をする。	健康 福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第77号	平成25年度松戸市一般会計予算（修正案）	予算 特別	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
	平成25年度松戸市一般会計予算（修正案を除く原案）		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
第78号	平成25年度松戸市国民健康保険特別会計予算		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第79号	平成25年度松戸市松戸競輪特別会計予算		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
第81号	平成25年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第83号	平成25年度松戸市介護保険特別会計予算		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第84号	平成25年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
第86号	平成25年度松戸市病院事業会計予算	病院 特別	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第89号	松戸市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例の制定 国家公務員退職手当法等の改正に準じ、退職手当の調整率を段階的に引き下げる。	総務 財務	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○
第91号	松戸市少年センター設置条例の一部を改正する条例の制定 教育委員会から市長部局への移管に伴い、位置等の規定を整備する。	教育 経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第96号	松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定 改正された医療法施行令等の規定に合わせ、条例で規定する診療科目の名称を改める。	病院 特別	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第97号	松戸市立新病院建設事業における設計・施工一括発注公募型プロポーザル審査 委員会条例の制定 新病院建設事業に係る契約の相手方を選定するにあたり、附属機関を設置する。	病院 特別	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

■否決された案件

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	採決
議員提出議案									
第32号	生活保護費の削減に反対する意見書の提出	—	否決	多数意見	第35号	地方自治体に対する職員給与切り下げの強要並びに地方交付税の一方的な削減に反対する意見書の提出	—	否決	多数意見
第33号	35人学級の見送りに反対し、計画の着実な推進を求める意見書の提出	—	否決	多数意見	第36号	来年度政府予算における巨大大公共事業と軍事費の浪費をやめ、国民生活への支援を中心に据えるよう求める意見書の提出	—	否決	多数意見
第34号	介護保険制度の改悪に反対する意見書の提出	—	否決	多数意見					

※平成25年4月1日、会派の構成議員に変更がありました。詳しくは市議会ホームページからご覧いただけます。

委員会の審査から

3月5日・6日・8日・11日・15日に各委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここでは、その審査の中での質疑・答弁（要点）の一部を掲載します。
（審議結果は2面に掲載）

総務財務常任委員会

議案第95号 松戸市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑
問 小金消防署の移転後の影響をどのように考えるか。

また、都市計画道路3・3・7号が開通したことにより道路が混雑しているが、その対応を伺う。

答 移転した小金消防署は、都市計画道路3・3・7号に隣接していることから、その開通に伴い、大金平方面、馬橋方面および八柱方面等の出場に対して、これまで以上に迅速な災害対応が出来るようになると思われる。渋滞対策については、消防車等の出場に際して、その活動に万全を期さなければならぬことから、開署後に混雑のデータを集計して、警察等の関係機関へ消防署前にゼブラゾーンを設置する申請を行う予定である。

健康福祉常任委員会

議案第93号 松戸市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

●主な質疑
問 本市における担当部署等の体制はどのようなになるのか。

答 この条例で本部が設置されると、市長が本部長となり、その下に副本部長、本部長、そして必要な職員を任命する体制となる。また、医療機関との連携が重要になるため、健康福祉部門が事務局となつて組織をつくっていく必要があると考える。

問 国から、緊急事態宣言が発令された場合の具体的な対応を伺う。

答 市民に冷静な行動をとっていただくよう、正確な情報の提供を第一に行う。次に、ワクチン接種の体制を整える。また、万が一に備えて公共施設等の休館や閉鎖などもありうるため、市民への説明や周知など、組織全体での対応が必要となる。

教育経済常任委員会

議案第91号 松戸市少年センター設置条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 市の組織変更により、少年センターが教育委員会から市長部局に移管することになるが、学校やPTAとの連携はどうか。

答 小中学校については、校長会等で、直接協力依頼し、連携を図っていく。PTAとの連携については、PTA連絡協議会等の団体と情報提供や意見交換会を実施した。

問 PTA連絡協議会と意見交換会等を実施した際の状況はどうか。

答 意見交換会では「市の組織変更後も、今まで以上に連携していくことで共通認識している」旨の情報提供を行った。
今後は、PTA連絡協議会の総会で説明し、協力依頼するとともに、小中学校の保護者には、組織変更等のお知らせ文を配付し、周知していく。

都市整備常任委員会

議案第90号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑
問 指定道路管理システムの導入による調書の写しとはどのようなものか。

答 土地建物の価値は、接する道路が建築基準法上で規定された道路か否かで変わる。このシステムは建築指導課窓口を設置され、来庁者が自ら操作検索し、その場で必要な物件に関する指定調書をコピー印刷できるもので、その手数料を300円とするものである。

議案第94号 松戸市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 市へ移管される21世紀の森と広場周辺駐車場のうち、西第2駐車場が閉鎖されるが、大型バス等の駐車スペースに不足はないか。

答 東駐車場に誘導員を配置し、臨機応変に対応する考えである。

市立病院建設検討特別委員会

議案第96号 松戸市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●主な質疑

問 歯科口腔外科を設けた場合、日本大学松戸歯学部付属病院や松戸歯科医師会との連携をどのように図っていくのか。

答 市立病院での歯科口腔外科は、一般の診療所では対応できないあらゆる疾患に対して十分な医療を提供する上で、必要な診療科目である。

そのようなことから、これまでも日本大学松戸歯学部付属病院とは、連携を図ってきている。

歯科口腔外科を設けるにあたり、具体的な運用方法等については、日本大学松戸歯学部付属病院や松戸歯科医師会、そして市議会の特別委員会にも十分に説明し、協議させていただいた上で進めていきたい。

予算審査特別委員会の審査から（平成25年度予算（10会計）を可決）

予算のあらまし

会計名		予算額(千円)	伸長率(%)
一般会計		127,830,000	0.0
特別会計	国民健康保険	50,656,282	2.1
	松戸競輪	17,394,390	△0.9
	下水道事業	12,563,546	1.1
	公設地方卸売市場事業	223,989	△6.4
	駐車場事業	89,002	3.5
	介護保険	27,012,474	5.2
	後期高齢者医療	4,199,911	2.9
計		112,139,594	2.2
企業会計	水道事業	2,293,948	△4.6
	病院事業	19,463,540	1.1
	計	21,757,488	0.5
合計		261,727,082	1.0

予算審査特別委員会委員

委員長	美祥二介	勇健一子	誠敏剛
副委員長	正由裕大	恵愛知	
委員	所山木井木川部沢井	堂	
委員	城杉原鈴木高市矢山	大二階	
委員	〃	〃	〃
委員	〃	〃	〃
委員	〃	〃	〃
委員	〃	〃	〃
委員	〃	〃	〃

一般会計

総務費

地域の仕組みづくりについて

問 「市民自治検討事業」の地域の仕組みづくりは、その内容について十分理解されていると考えるか。また、想定するモデル地区について伺う。

答 地域のしくみづくり検討・検証委員会において「地域の問題は地域で解決する仕組み」づくりには、自治体内分権が有効であるとしてお

公共施設再編検討事業の外部委託について

問 公共施設再編の基本方針策定支援業務について、外部委託する理由を伺う。

答 公共施設の老朽化については、多くの自治体が同様の問題を抱えている。本市の施設数は大変多く、それらの現状をとりまとめた上で方向性を定め、公共施設再編の優先順位を付ける必要がある。基本方針の策定については、ノウハウを持った外部業者に協力をいただき、進めていくのが適切であると考えている。

民生費

成年後見制度
利用支援業務について

問 地域生活支援事業における市民後見人等の育成について伺う。

答 本市では、障がいのある方へこれまでも地域生活支援事業の相談業務の中で、成年後見制度の申し立てに要する経費や、報酬費用などの助成を行ってきた。

国の関係法令の整備により、成年後見制度の利用を促進するために、市民後見人等の人材育成が必須事業となった。これにより平成25年度からは、成年後見制度利用支援業務として、市民後見人等の人材育成や活用を図るために、研修を実施する経費を増額した。成年後見制度の利用支援を促進するため、今後も力を注いでいきたいと考える。

衛生費

子宮がん検診業務について

問 いち早くHPV（ヒトパピローマウイルス）検査費用の助成を行うとのことだが、その内容は。

答 国は、がん検診推進事業として、子宮頸部細胞検査に加え、より早期・正確にがんを発見するため、この検査の受診費用の一部を補助するとした。本市では平成25年度から、子宮頸がん検診の無料クーポン券送付対象者のうち、HPV検査が有効とされる30歳と35歳の希望者が受診する費用の一部助成を行うものである。対象者には、検査効果を記載した受診勧奨のお知らせを送付して周知を図り、より多くの方が受診できるよう、広報まつど等への掲載も行っていきたいと考える。

土木費

戸定が丘歴史公園の
拡充整備について

問 隣接する福島県学生寮跡地を利用し、どのような方針で戸定が丘歴史公園の拡充整備をするのか。

答 福島県学生寮は平成24年度中に解体され、福島県と土地売買契約が行われる。拡張される面積2532・79平方メートルを新たな公園区域とし、25年度に整備計画を策定する。公園整備の基本的な考え方として、国の重要文化財である戸定邸の庭園との景観的なつながりを考慮し、歴史性に配慮した形で設計を進めたい。公園整備計画の策定にあたっては、千葉大学園芸学部やボランティア、地域の方々とのワークショップを通じて、開園後の活用方法も含めて設計内容を検討していきたい。

教育費

七草ハーフマラソンについて

問 七草マラソン大会のハーフマラソンは、どのような経緯があつて導入することになったのか。

また、警備体制について、現在行われている10kmマラソンと比べて、どのように変わるのか。

答 平成25年度は市制施行70周年となることから、昨年の七草マラソン大会終了後から、70周年の記念事業として、ハーフマラソンを実施すべく検討を進めてきたところである。大会の警備体制として、現在の10kmマラソンにおいては、約400人を配置しているが、ハーフマラソンを実施する場合は、倍の人数となる800人程度を配置する必要があると考えている。

特別会計

国民健康保険

特定健康診査について

問 平成25年度予算における特定健康診査事業の取り組みを伺う。

答 24年度は受診率向上プロジェクトを設置し、受診率向上対策の検討を行った。医療費の抑制のためにも、健康福祉常任委員会からの政策提言を踏まえ、25年度の新たな取り組みとして、①特定健康診査の周知文を分かりやすくする。②医師会との連携により、受診しやすい体制を目指す。③若い世代の受診機会を増やすための土・日を含めた集団検診を実施する。④健康推進員等の方々の協力をいただき市民へのPRを徹底する、などの事業を予定している。

企業会計

病院事業

地域医療支援病院承認への状況は

問 地域医療支援病院承認への進捗状況は。

答 地域医療支援病院承認に向けて、院内でプロジェクトチームを立ち上げて活動している。

その要件の一つであり、一番大きな課題である紹介率・逆紹介率は、①紹介率が80%以上、②紹介率60%以上かつ逆紹介率30%以上、③紹介率40%以上かつ逆紹介率60%以上のいずれかの条件を満たすことなどが必要となる。

市立病院は、平成25年1月末現在で紹介率56・9%、逆紹介率69%の状況となっている。なお、承認された場合は、年間約9千万円から1億円程度の増収になると考えている。

平成25年度

予 算 討 論

定例会最終日、平成25年度予算案に対する討論を行いました。

日本共産党

一般会計、国民健康保険特別会計、松戸競輪特別会計、公設地方卸売市場事業特別会計、介護保険特別会計および後期高齢者医療特別会計に反対し、下水道事業特別会計、駐車場事業特別会計、水道事業会計および病院事業会計に賛成する。

平成25年度予算が意気込みだけで実が伴わないものになっていないか、市民の求めに合致した願いが反映されたものになっているかという観点から予算審査を行った。

一般会計では、子ども医療費助成の中学校3年生までの年齢拡大、地域包括支援センターの拡大等の評価する。一方、保育所の待機児童の問題では、抜本的な対策

公明党

平成25年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および水道事業会計の歳入歳出予算に賛成する。

株価の上昇や円安等により、日本の経済は好転する兆しがあるものの、世界経済の動向はまだ不安定である。そんな中、今回の予算編成では、市民福祉の向上に配慮した内容を重点に審査した。

一般会計の総務費では、災害時に市民が使用する飲料水確保のための地下水活用システム導入を評価する。また、新年度から、行政サービスセンターが土曜日に加え、第二・第四日曜日も開庁となるが、市民サービス向上のための、さらなるメニュー増を期待する。

と園庭などが設けられた認可保育所の拡充を求める。また、教員が生徒たちに目が行き届く体制の整備のためにも、30人以下学級に向けたさらなる取り組みを求める。

国保会計では、市民の大きな負担となっている保険料の引き下げと、国の負担を25%から50%に戻すことを強く求め、反対する。

競輪会計では、自治体財政をギャンブルに頼るべきでないとして反対する。

市場会計では、空小間補償の過剰負担につながる民設公営借り上げ方式の問題と、1市2市場の非効率性を指摘し、反対する。

介護保険会計では、介護保険制度の国の責任の抜本的強化を強く求め、反対する。

後期高齢者医療会計では、高齢者を差別する制度の廃止を強く主張し、反対する。

民生費では、子ども医療費助成が、入院・通院とも中学校3年生まで拡大することに感謝する。また、保育における待機児童解消に、より一層の取り組みをお願いする。

市民クラブ

平成25年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および水道事業会計の歳入歳出予算に賛成する。

今回は、本市の大きな政策課題について、特徴を生かした政策展開となっているか、少子高齢化社会に適した人口問題施策となっているか、成長戦略とはなにか等の観点で審査を行った。

総務費では、市民自治検討事業のモデル試行事業経費について、既存の組織や制度の総括を行わないう中で、全く別な仕組みづくりのモデル事業を展開することは時期尚早と考え、修正案に賛成する。民生費では、子育て世代の誘致や働く環境の整備を評価する。民生費の増加は避けられない状況に

絆（無所属の会・みんなの会）

平成25年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計の歳入歳出予算に賛成する。

25年度の財政見通しは、市税は微増が見込まれるが、法人税は依然として減少が見込まれている。加えて、市債残高は23年度から増加に転じ、今後、学校の耐震化や施設の再整備、新病院建設等、新たな起債要因は枚挙にいとまがなく、財政運営は厳しいと言わざるを得ない。だからこそ、限られた資源を有効に活用した行政運営を、切に願っているとともに、将来世代に負担ではなく、希望を与えるような施策を求めるものである。

今回の予算編成では、果たして、

あり、本市独自の子育て支援策を模索していく必要があると考える。衛生費では、予防接種業務や健康診査業務などで、引き続き総医療費の抑制に努めていただきたい。

土工費は、増額されているが、企業等を誘致するには物足りなく、空き店舗対策の域を脱しない。国の予算を積極的に取りにいくような姿勢で臨んでいただきたい。土木費では、各駅のバリアフリー化が進んでいることを評価する。

教育費では、七草ハーフマラソンについて、70周年記念事業の一環として認める。事業終了後は検証を行い、地理的状況にあった大会としていただきたい。歳入では、子育て世代の誘致による税収アップの収入予想が反映されているとは思えないので、各施策の実行で歳入の数字として結果が見える行政運営をお願いする。

政策形成プロセスの明確化、費用対効果や本市の強みを生かすための検証などは行われたのか。商工費や労働費等で、これまでの議会との議論を反映した増額予算となったことは、大いに評価できる。

しかし、自治体間のサービス過当競争時代に突入した今の時代においては、単純に他市並みにサービスを引き上げることだけを是とせず、そこに本市の強みを生かすという視点が望まれている。各事業の政策形成プロセスを明確にし、費用対効果や本市の強みを生かすにはどうすべきかを検証した上での予算執行をお願いしたい。

一般会計の修正案については、町会等への加入促進を進めていくほか、地域の仕組み・強みを生かせるものと判断し、モデル試行事業経費および同事業成果報告会開催経費の削除に賛成するとした。

民主・社民クラブ

平成25年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計の歳入歳出予算に賛成する。

一般会計予算は、前年度同額になっているが、歳入において収入増とされるたばこ税は国からの税源移譲であり、固定資産税も消費税引き上げ前の住宅建設によるもので、景気回復によるとは言いがたく、今後の動向に注意が必要と考える。

また、歳出では、特別職および管理職給与の削減により人件費が減額され、一方で高齢化や市民の厳しい経済状況による扶助費に増額がみられる。そのため、民間委託や非常勤職員の処遇改善にどう取り組むのか。また、新規事業等

市民力

平成25年度一般会計の修正案ならびに修正案を除く原案、各特別会計および各企業会計の歳入歳出予算に賛成する。

5年ぶりに市税収入見込みが前年を上回り、景気の緩やかな回復が感じられるものの、中身を見れば、状況は厳しいと言わざるを得ない。歳入確保のためには、いち早い人口転出の抑制・転入促進のための策が必要である。雇用問題も含め従業員数の多い企業の優先的誘致や都市計画税率の変更等、思い切った対策の検討を指摘する。

総務費では、財産の適正化を目指す施設設備の管理に期待する。庁舎管理に対する省エネ診断やプロポーザル方式によるコスト削減

が市民福祉の向上にどのような影響を与えるのかなどを基本として審査を行った。

総務費の市民自治検討事業は、各町会・自治会の抱える課題もあり、現状把握と実態を踏まえた取り組みから始めるよう指摘する。また、モデル地区が決まらない

中での予算化は時期尚早であり、十分な検討を要望して、モデル試行事業経費等を削除する修正案に賛成する。

民生費の障害者就労支援事業は、新商品開発を支援し、併せて障がい者の工賃向上を目指すもので、新年度の取り組みを注視する。

土木費では街区公園が少ない五香地区の整備を、消防費では地域の防災力強化のために老朽化機器の見直しを、さらに教育費では学校トイレの洋式化などを要望する。

提案の募集や、庁舎を媒体とする広告事業を提案する。一方、市民自治検討事業については、事業内容の周知が十分と思えず、その一部修正に賛成する。民生費の子育て支援策は、市内外への情報発信を望むものである。衛生費では、衛生会館での夜間歯科診療業務の費用対効果を問う、民間歯科診療所との連携を提案する。商工費では企業誘致事業に期待する。土木費では道路照明等の全面LED化に感謝する。また、消防費では、いつ来るかわからない災害への緩みない備えをお願いする。教育費においては、七草ハーフマラソン

実現の際には、その安全性等の配慮について要望する。水道事業会計では、県水と市水の不公平な料金の解消を要望する。

病院事業会計では、収益増加のためのさらなる努力を期待する。

一般質問

3月定例会では2月28日・3月1日・4日の3日間にわたり、市長の施政方針を中心に市政に関する一般質問を行いました。

まず、会派を代表する議員7名が、続いて会派に属さない議員3名が順次登壇しました。

公明党

高橋 伸之

小学校給食の食物アレルギー対策について

問 緊急時、迅速に対応できる救急搬送システム、消防救急体制の構築についての考えを伺う。

答 緊急時の対応は、アレルギーはもとより、さまざまな事態を想定した中で各学校において体制を整えている。また、救急隊の協力を得て、アレルギーが発症した場合の救急対応について、実地訓練を行った学校もある。このような学校の具体的な実践を広げて、各学校の職員における救急対応についての意識を高めていきたい。

松戸市内のトンネルの点検について

問 構造的には事故のあった笹子トンネルと同様なのか。また、点検方法等は。

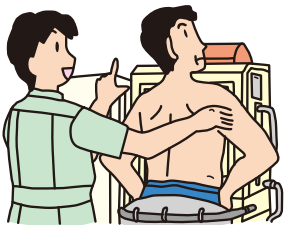
答 松戸市が管理する道路トンネルは15カ所ある。構造形式は、全て鉄筋コンクリートにより剛性をもたせた箱型の構造で、笹子トンネルのような上壁部に重量構造物を有するトンネルではない。年5回の目視による定期点検を実施していたが、躯体を直接打音する検査を実施したい。また、日常点検はもとより、定期点検のチェック項目や方法、点検頻度等を網羅した「松戸市道路トンネル点検要領」を作成し、十分な安全確保に努めていく。

がん対策の取組みについて

問 「千葉県がん対策推進条例」が制定されることを受け、がん対策推進計画やがん対策推進条例の制定について、どのように考えるか。

答 本市においても、がんによる死亡率は第一位であり、がん対策は重要であると考えている。

今後、がん対策の推進を包含する健康増進計画を策定する予定であり、がん対策の推進計画や条例の制定も視野に入れ、健康づくりを総合的に推進していく考えである。



市民クラブ

末松 裕人

公共施設の今後のあり方について

問 公共施設の再編整備は、本市のグランドデザインづくりにつながるものと考えてるが、今後、どのような内容で検討を進めようとしているのか。

答 公共施設の現状を把握するために、平成24年度中に公共施設白書を作成する。25年度は、白書の情報を市民の方と共有し、広く意見をくみ取るために、今後のあり方を含むアンケートを実施する。その結果を基にして、公共施設再編整備の基本方針の策定にとりかかりたいと考えている。この方針を踏まえて作成する予定の公共施設再編整備計画の中には、時代に合った公共施設の有効活用も含めていく予定である。

「いじめ」「不登校」「体罰」などの解消に向けた取り組みは

問 いじめ等の対策は、教育委員会だけではなく、市長部局も含め、家庭や地域社会が一体となり、責任を共有し、対応すべきと考えてるが見解を伺う。

答 現在、社会総ぐるみで、子どもたちの基本的な倫理観、自制心、自立心を育もうとする機運が高まっている。国における「いじめ防止対策基本法」制定の動きは、各自治体での条例の制度設計に大きな影響を与えるものになると予想している。当然、条例の実効性を担保するためには、周辺部分を整えていく必要があるため、対応については、さらに研究を深めていく考えである。

戦略的視点での歳入確保策について

問 自治体の成長戦略は、景気動向や補助金に頼るのではなく、自ら歳入を生み出す具体的な策を講じることと考えるが、市税の増収策への見解を伺う。

答 本市の市民1人当たりの担税力は近隣市と比べて低い傾向にある。市税構造を転換し、市税の増収を図ることは容易なことではない。企業誘致策や子育て環境の整備など、都市としての質を高める努力を続ける必要がある、今後もさまざまな施策の積み重ねがなければ、将来の市税の増収にはつながらないと考えている。

松政クラブ

杉山 由祥

市長の考える

松戸市の基本的なかたちについて

問 松戸市の基本的な未来像について、どのように考えるのか。政令指定都市を目指すのか、また現状のままで、中核市を目指すのか。

答 東葛広域行政連絡協議会など、三つの会での研究成果を踏まえて、基本的な方向性として、政令指定都市への移行に向けて検討すべき、と考えている。しかし、現在の社会環境や近隣都市との検討状況、市民からの議論の熟度などから、今は検討に向けて踏み出す時ではないと考える。中核市への移行については、国からの財政的支援に不安もあるが、一定のメリットはあると考え、研究を進めている。

人口成熟・都市成熟問題について

問 本市の人口減少は、人口・都市の成熟が原因と考える。世代交代がうまくいくような支援策を加えて、三世交代のまちづくりを目指すべきでは。

答 社会インフラの成熟については、危機感を持つており、現在、本市の人口減少の分析調査を実施している。施政方針でも「子育て、教育、文化を軸とした都市ブランドづくり」、「人と人とのつながりを大切にするまち」を政策の柱とし、新たに「元気なまちづくり」を掲げた。こうしたまちの再生に向けた取り組みで、子育て世代を呼び込むことを、最優先課題と考え、成果につながるよう努めていく。

松戸市の経済と産業振興について

問 松戸商工会議所より提出された23項目からなる提言書について考えを伺う。

答 この提言書は、松戸市を代表する総合経済団体の松戸商工会議所会員の方々が、まちづくりという視点から議論し、商工会議所の理事会等を経て、平成24年11月に本市へ提出されたものである。会員の方々の思いが込められた、本提言書を厳粛に受け止め、経営会議を経て各本部へ周知を図った。内容が多岐に渡ることから、今後は、商工会議所等とも議論を重ね、推進していく考えである。

日本共産党

宇津野 史行

生活保護について

問 ①生活保護基準の引き下げによる受給者への影響は。②引き下げで影響を受ける制度への対応は。

答 ①平成25年度の生活保護基準見直しの具体的内容は、現時点で国から通知はないが、保護廃止世帯と保護開始世帯が発生する可能性が考えられる。

②保護基準を利用条件の目安とする制度に、介護保険や保育等がある。さらには、保護基準が住民税非課税要件の一つであるため、多くの制度に影響が及ぶと考えている。本市としては、国の動向を注視し、各制度の趣旨に十分配慮しながら対応していく。

市立病院看護士の勤務について、ワークライフバランスの実現を

問 育児・介護休業法の改正により、出産・育児時における勤務時間の短縮や夜勤の免除等が定められたが、制度として機能するための環境づくりは。

答 夜勤免除制度の利用は、平成23年度が8名、24年度は2月現在9名である。夜勤の回数は市立病院病棟全体で月平均8・76回であり、突発的な理由から一時的に回数が多くなる職員もいる。今後、職員が、必要に応じて夜勤の免除を受けられるように体制を整えたい。24年度から千葉県看護協会の事業に参加し、育児や介護などに合わせて働きやすい多様な勤務形態や職場環境の整備に取り組んでいく。

「原発事故子ども・被災者支援法」への認識と健康対策は

問 本市の健康対策については、原発事故子ども・被災者支援法の基本方針の策定待ちなのか。

答 同法律の基本方針は、国が検討作業中である。その中に含まれる支援対象地域に関する事項や、健康と生活等の実効性のある施策などもこれからであるが、9市長連名（松戸、野田、佐倉、柏、流山、我孫子、鎌ヶ谷、印西、白井）で国に提出した要望書や同法により、健康対策を推進する後ろ盾が担保されると認識している。今後とも市議会放射能対策協議会と連携をとって進めていきたい。

絆（無所属の会・みんな）

杉浦 誠一

「健康松戸21Ⅱ」の

歯科保健推進について

問 平成25年度に策定される次期計画において、歯科保健推進条例の制定を視野に入れながら計画会議を進める考えはあるか。

答 本市においては、国の「健康日本21」を受け、「健康松戸21Ⅱ」を策定し、現在推進しているところである。その中で歯科保健については、柱の一つ「歯と歯ぐきの健康」として、種々の歯科口腔保健事業を展開し、健康の保持増進に努めている。ご提案の歯科保健推進条例の制定も視野に入れながら、検討していく考えである。

市指定避難場所の運営と課題について

問 広域避難場所に指定されている都立八柱霊園は、東京都の条例によって運用されており、霊園の使用ルールは、本市で決められないものとなっている。東京都と本市の間で霊園の運用等を調整する窓口となる協議会設置の進捗状況を伺う。

答 市民の方々が安心して避難ができるような避難場所としての使用に関する協定の明文化等については、関係機関と協議していく。

また、霊園周辺の良好な環境確保に視点を置き、関係部署による連絡協議の設置に向け、現在進めているところである。

ごみの適正処理について

問 焼却施設の位置づけはどうするのか。また、粗大ごみの効率的な処理について伺う。

答 現在、稼動中のクリーンセンターと和名ヶ谷クリーンセンターの2施設は、今後も焼却施設の位置づけとすることに変わりはない。旧六和クリーンセンター跡地については、今後、焼却処理施設以外で利用することを予定している。

また、粗大ごみの効率的な処理のあり方については、市民の利便性を考え、1施設で受け付けできる仕組みを考えている。

これらも含め、市内の廃棄物処理施設全体の将来構想を考えて、見直し作業を進めている。

市民力

山中 啓之

市の人口減少への対策について

問 近年、本市では転出者数が転入者数を上回る転出超過が続いている。本市の政策に影響を及ぼす人口減少の現状と、流出防止策・流入促進策を問う。

答 本市の人口は平成19年と23年を比較すると、10代未満、20代と30代、50代で減少しており、その原因は、本市への転入が大きく減ったことであった。また、柏市へ582人、流山市へ230人など近隣への転出超過も見られた。そのためにも、人口流入につながるよう、特に市外の子育て世代に対し、本市の子育て支援策についてシティブロモーションを展開したい。転出防止策、転入促進策については、アンケート調査により、データだけでは見えてこない実際の転出入に影響した政策や問題を把握・分析し、選択と集中、政策の磨き上げを行っていく。

市制施行70周年事業について

問 各種事業で本市の魅力を伝え故郷への愛着を育む事業として、今後も継続するものは何か。

答 記念事業は、市民の方々とともに祝い、松戸の魅力や可能性を高め、元氣なまちづくりのためのものである。次代を担う子どもたちに夢と希望を与える「まつど宇宙と科学の日記念イベント」の実施や、市外からも多数の参加者が見込まれる「松戸市七草マラソン」は、ハーフマラソンの導入を予定し、実施状況を踏まえ、継続開催に向けて検討していきたい。

効率的な行政サービスについて

問 各種施策について効果（アウトカム）指標を持つ考えはないか。また、産業関連分析による経済波及効果や費用対効果が見える取り組みは。

答 現在、約180の基本事業および約1700の業務で行政評価を行い、事業目的のほか、目的達成度を測る指標を設定している。できるだけ効果を測れるものとしているが、妥当性の検証を行い、その都度改善している。また、今後は、経済効果や費用対効果が見えるような取り組みが政策評価の手法として活用できるか、研究を進めていきたい。

民主・社民クラブ

安藤 淳子

羽田空港と松戸駅間
リムジンバスの検討状況は

問 羽田空港・松戸駅間直行バス路線（リムジンバス）の創設に向けて、現在の進捗よく状況は。

答 羽田空港と松戸駅を結ぶリムジンバスは、現段階では実現に至っていない。しかし、平成27年度を目標に整備が進む外かく環状道路千葉区間が開通すると、臨海副都心や羽田空港方面へのアクセスが飛躍的に向上するため、その実現性は高いに高まってくる。本市としても、市民の交通利便性や都市間競争力を高める上で、非常に重要な施策と認識している。今後は、外かく環状道路の進捗よくに合わせ、バス事業者との協議を本格化していきたい。

地域包括ケアシステムについて

問 一人暮らし高齢者等が増える中、安心して暮らせる支援組織づくりとして「地域包括ケアシステム」のモデル地区を設定する考えはないか。

答 平成25年度には、地域の核となる地域包括支援センターを11カ所に増設する予定である。センターが地域におけるさまざまな高齢者支援の活動をコーディネートすることで、地域に密着した地域包括ケアシステムが構築されるものと考えている。モデル地区の設定は予定していないが、本市としても、職員研修を十分に行うなどの支援をしていく。

公契約条例の制定に向けて

問 賃金等、労働条件の確保に向けた「総合評価方式」の新たな取り組みを、どう考えているか。

答 本市では、市と契約する事業（公契約）に従事する労働者の賃金にしろ寄せが起きないように、また業務の質の確保が図られるように適正な価格で契約すべく、現行制度の改善や公契約条例の検討を行っている。新たな取り組みとして、総合評価方式における評価項目に「賃金の支払状況」を取り入れることで、適正な賃金の支払いを喚起する。賃金の支払予定額や、支払状況が確認できる仕組みを、国による公共工事設計労務単価が明確な建設工事から試行的に行っていく。

無所属

中田 京

「まちづくり」をすすめるためには

問 どのようにまちづくりを前進させるのか。まちづくりに欠かせない市民の存在を、どう考えるか。

答 行政は、まちづくりへの意識を高め、庁内連携を強化することが必要であり、職員は専門性とともに、外部との調整能力が一層求められる。研修等への参加を促進し、人材育成に取り組むと同時に、地域の合意形成を確実にするためのノウハウを蓄積していきたい。また、地域との連携を進めることが重要である。どういうまちにしたいか、より多くの市民の方々の声を反映させるためにも、平成25年度の組織改革を機に、さらなる取り組みを推進したい。

桜井 秀三

東京都立八柱霊園について

問 八柱霊園内に合葬式墓地が建設されているが、経過と完成後の周辺道路渋滞等の対応は。

答 八柱霊園の合葬式墓地は、建設工事着工前に、建築基準法に基づき、東京都から計画通知の提出を受けて、本市から確認済書を交付している。また工事完了後には、墓地の経営許可申請を受理した上で、市の条例や関係法令に適合するかを審査し、許可するものである。墓参者が集中する時期に、霊園周辺の道路渋滞が発生することは認識しており、関係部署との連携を図り、対応するための連絡会議の設置に向けて、準備を進めている。

大橋 博

市立病院建て替えの発注方式について

問 市立病院の建て替えについては、なぜ、デザインビルドによる一括発注方式を採用したのか。

答 デザインビルド（設計・施工一括）方式の導入については、松戸市立病院建替計画検討委員会からの提言に添え検討した。受注者、発注者間の責任分担が必要との指摘があったので、実施要領や業務契約書等に双方の分担を明示し、受注者に過度の負担がないよう配慮する。デザインビルド方式の導入による公募型プロポーザルを実施し、技術的条件や事業費、工期等の提案を求めコスト削減を図り、平成29年開院に向けてまい進する予定である。

意見書2件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

● 中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書

● ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

人事案件

教育委員会委員の2人、固定資産評価員の1人の任期満了に備え、任命および選任に同意しました。

教育委員会委員 山田 達郎
教育委員会委員 伊藤 純一
固定資産評価員 山室 武

常任委員会の変更

市の組織改正に伴い、松戸市議会委員会条例の一部を改正し、常任委員会の名称と所管を変更しました。

総務財務常任委員会	会計管理者、総務部、総合政策部、財務部、監査委員、公平委員会、選挙管理委員会、固定資産評価員、固定資産評価審査委員会、消防局、他の常任委員会の所管に属しない事項
健康福祉常任委員会	健康福祉部、福祉長寿部、子ども部、福祉事務所、病院事業
教育環境常任委員会 (旧 教育経済)	市民部、環境部、教育委員会
建設経済常任委員会 (旧 都市整備)	経済振興部、街づくり部、建設部、水道事業、農業委員会



受表彰者の皆さんと中川英孝議長

松戸市議会表彰

3月4日に、松戸市議会表彰が本会議場で執り行われました。
この表彰は、スポーツ・学術・文化・社会活動等で、特に功績のあった個人・団体に対し、松戸市議会が表彰を行い、功労をたたえとともに、市民の郷土愛を育むことを目的としています。



市立和名ヶ谷中学校吹奏楽部の皆さんに「ファンタズミック」「ディズニー・ファンティリュージョン」を演奏していただきました。

個人表彰

- 降雄 一颯（二列左）
（市立八ヶ崎小学校）
- ★第12回全日本少年少女空手道選手権大会二年男子組手優勝
黒岩 夏海（二列左から二番目）
（市立栗ヶ沢中学校）
- ★第9回全国中学生弓道大会個人競技・女子の部 優勝

団体表彰

- 市立第六中学校 弓道部（一列中央 代表 三島 祐悟）
- ★第9回全国中学生弓道大会 団体競技・男子の部 優勝
- 松戸市少年少女発明クラブ チューリップ
（一列右から二番目 代表 吉岡 朋輝）
- ★第3回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト文部科学大臣賞
（競技部門最優秀賞）
- 市立小金中学校 科学部
（二列右 代表 齊藤 開斗）
- ★ロボカップ2012メキシコ世界大会 センサー賞
- 市立和名ヶ谷中学校 吹奏楽部
（二列左から 代表 杉山 ジェイミー）
代表 成田 美佳
- ★第60回全日本吹奏楽コンクール中学の部 金賞
- 市立第一中学校 吹奏楽部
（二列右から 代表 山崎 桃花）
代表 鈴木 望海
- ★第18回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校B部門最優秀賞
- 千葉県立松戸六実高等学校 吹奏楽部
（三列左から 代表 中山 玲）
代表 今市 彩音
- ★第25回全日本マーチングコンテスト高校以上の部 金賞

特別表彰

- 市立第四中学校 吹奏楽部
（三列右から 代表 小池 結希帆）
代表 小林 奈緒
- ★市内のみならず、全国各地の行事等で演奏活動を行い、松戸市の名を広め、地域社会における市民文化および市民福祉の向上に大きく貢献した。

（敬称略）

6月定例会の開催予定

平成25年松戸市議会6月定例会は、6月11日（火）から6月27日（木）まで開催される予定です。
請願・陳情は、5月31日（金）正午までに提出してください。

期日	主な内容
6月11日（火）	招集日・本会議（議案説明）
12日（水）	本会議（一般質問）
13日（木）	〃
14日（金）	〃
17日（月）	〃
18日（火）	本会議（一般質問・議案質疑）
20日（木）	総務財務常任委員会
21日（金）	健康福祉常任委員会
24日（月）	教育環境常任委員会
25日（火）	建設経済常任委員会
27日（木）	本会議（議案等の採決）

編集の窓

まばゆいくらいの新緑の季節となりました。今回の議会だよりはいかがでしたか。私たち、議員は市民の皆さまの代弁者として毎回議会に臨んでおります。皆さまにとりましてわかりやすい議会だよりとなるよう心がけて、今回は爽やかさを前面に打ち出しました。次号もぜひ楽しみにお待ち下さい。

議会を傍聴しませんか

問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 047 (366) 7381

『声の議会だより』をご利用ください

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会のご協力により、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物の貸し出しをしています。
松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）
TEL 047 (383) 7111
住 所 松戸市五香西3-7-1

次回発行予定は8月1日（木）です